平成21年度 三芳町男女共同参画推進に向けて

ヒューマンフェスタ2010開催 ■平成22年2月6日(土)／コピスみよし

●共に生きる女(ひと)と男(ひと)のセミナー・人権問題講演会

テーマ：『日本人が見失った大切なもの』
講　師：江森 陽弘 氏（ジャーナリスト）

えん罪はどうして起きるのかの話しから取調べやマスコミの取上げ方によって、真実からずれていくこともある、長年の経験から、その時々に変と感じたら声を出すこと、そして力を出し合いみんなで話し合うことが大切であると話されました。

男女共同参画とは、男と女が共同して企画・計画し実行していくこと。日本はまだまだ男の社会、女性が自分の意見をはっきり言えるように、力を出し合っていきましょうと。

最後に江森さんのハーモニカに合わせ、童謡を歌いほのぼのとした気分になりました。

（齊藤）

みよしまち女性相談カウンセラーより ～悩んでいるあなたへ～

女性相談担当のカウンセラー中川です。女性相談に初めてお越しの方は、よく「こんなつまらないことを話してよいのでしょうか」と遠慮がちにおっしゃいます。しかし、悩みにつまらないことなどありません。悩みや迷いもやもや…自分でも上手く説明できないことを一緒に言葉にしていくプロセスが実はカウンセリングなのです。相談者のカウンセリングへの期待をしっかりお聴きして1～6回を目安として進めていきます。カウンセラーは三芳町に地縁がなく、プライバシーは厳守します。ご安心ください。また、他の行政サービスなどへの紹介はご希望があれば可能です。親との関係、子育て、夫婦関係、身体的精神的DV被害、近所づきあい、ハラスメント、離婚後の生活、キャリアなど、女性の幅広い悩み事に対応していますが、人間関係に関する相談が一番多いというのが現場の実感です。一度の面接ですっきりされる人やじっくり過去を振り返る人、また、これからの目標を探索する人、利用の仕方はさまざまです。お忙しい方、交通の便の悪い方には電話によるカウンセリングが可能です。

一人で悩まないで、ぜひ勇気を出して一歩を踏み出してください。

※詳しくは裏面をご覧ください。

『日本女性会議2009さかい』 ■平成21年10月30・31日／大阪府堺市

女性の自立と社会参加の推進に功績した与謝野晶子生誕の地、大阪府堺市で26回目を迎えた今大会は、全国から4000人の参加者を得て開催されました。

内閣府男女共同参画局の岡島敦子局長による基調報告、シンポジウム、対談、17の分野・テーマに分かれての分科会など、盛りだくさんの２日間。全国からの参加者との情報交換・交流も楽しく充実した時を過ごすことができました。

2009 SAKAI

シンボルマーク
堺市の歴史遺産である古墳の形、前方後円墳をモチーフに、すべての人が性別にとらわれず共に協調し、発展する姿をデザインしています。

男女共同参画社会基本法が公布・制定されて10年、晶子が女性の自立と解放を願い「山の動く日きたる」とうたった日から100年が経ちました。すべての人が自分らしく生きられる社会を築くために、ワーク・ライフ・バランスを積極的に推進し、あらゆる分野・システムにジェンダーの視点を組み入れることを、私たち一人ひとりが自覚し行動することの重要性を再認識した大会でした。　（向吉・荻野）

農村アドバイザーによる料理講習会が三芳町で開催されました

～女性の力で活気ある農業を～

平成21年10月14日、さいたま農村女性アドバイザー「土生女輝(ときめき)」主催による、さつまいもの収穫体験が、上富の農家で行われました。小さなこどもから大人まで、秋の日差しを浴びながら楽しくいもほりをした後は、収穫したての『紅あづま』を使ったさまざまな料理が振るまわれ、旬の味覚に舌鼓をうちました。

三芳町では、3人（高橋光江さん、高橋律子さん、松本貴美江さん）の農村女性アドバイザーが、地域リーダーとして活躍しています。

※さいたま農村女性アドバイザーとは農村における女性の社会的役割の向上や、男女共同参画の推進を目的に農業経営や地域社会参加している女性農業者を「さいたま農村女性アドバイザー」として埼玉県知事が認定しています。